

Cisco Business ダッシュボード バージョン 2.3.0 リリースノート

初版 : 2021 年 6 月 7 日

はじめに

このリリースノートでは、Cisco Business ダッシュボードのソフトウェアバージョン 2.3.0 で推奨される操作と既知の問題について説明します。

Cisco Business ダッシュボード リリース 2.3.0 の新機能

Cisco Business ダッシュボード リリース 2.3.0 では、次の新機能と変更が導入されています。

- Cisco Business 220 シリーズ スイッチプラットフォームがサポートされています。スイッチは、ネットワークプロンプトを使用するか、直接管理によって管理できます。
- 将来の指定された時間にデバイスのアクションが実行されるようにスケジュールするためのサポートが追加されました。アクションは、1 回実行するか、または定期ジョブとして実行するようにスケジュールできます。
- 管理者は、組織およびネットワークの変更期間を定義できます。変更期間とは、ビジネスの運用に影響を与えずにネットワークメンテナンスを実行するために使用する、繰り返しの時間枠です。アクションをスケジュールする場合、ユーザーは次に使用可能な変更期間でアクションを実行するように指定できます。
- Cisco Business ダッシュボード 2.3.0 は Ubuntu バージョン 20.04 (Focal Fossa) および Ubuntu バージョン 16.04 (Xenial Xerus) にインストールできるようになりました。
- ノースバウンド API が更新され、イベントペイロードにデバイスグループ ID が含まれるようになりました。

詳細については、<https://cisco.com/go/cbd-api> を参照してください。

Cisco Business ダッシュボードのシステム要件

Cisco Business ダッシュボードは、Ubuntu Linux ディストリビューションで使用するためのインストールとして、仮想マシンイメージとして配布され、AWS マーケットプレイス (<https://aws.amazon.com/marketplace>) を通じて Amazon Web Services 用に利用できます。

仮想マシンで Cisco Business ダッシュボードを実行する場合、ハイパーバイザは次のいずれかである必要があります。

- Microsoft Hyper-V バージョン 10.0 以降
- Oracle VirtualBox バージョン 6.1 以降
- VMWare : 以下のいずれか
 - ESXi バージョン 6.0 以降
 - Fusion バージョン 11.5 以降
 - Workstation バージョン 15.1 以降

Ubuntu Linux で Cisco Business ダッシュボードを実行するには、ご使用の環境が、64 ビット Intel アーキテクチャ プラットフォーム上で Ubuntu バージョン 16.04.x (Xenial Xerus) または 20.04.x (Focal Fossa) を実行している必要があります。シスコでは、Ubuntu サーバーディストリビューションを使用すること、および Cisco Business ダッシュボードで必要となるパッケージのみをインストールすることをお勧めします。

表 1 に、管理下のデバイスの数に基づいて Cisco Business ダッシュボードに必要なコンピューティングリソースを示します。

表 1: Cisco Business ダッシュボードのコンピューティングリソース要件

サポート対象デバイス数	vCPU 数	RAM	ディスク容量
最大 300	2	4GB	60 GB
最大 2500 台	12	24 GB	60 GB

AWS で Cisco Business ダッシュボードを実行するには、AWS アカウントが必要です。次の AWS インスタンスタイプがサポートされています。

- c5.large : 最大 300 台の管理対象デバイス
- c5.4xlarge : 最大 2,500 台の管理対象デバイス

Cisco Business ダッシュボードは Web ユーザーインターフェイスを通じて管理されます。このインターフェイスを使用するには、以下のいずれかのブラウザが必要です。

- Apple Safari (MacOS のみ) : 2 つの最新メジャーバージョン
- Google Chrome のバージョン : 最新バージョン
- Microsoft Edge のバージョン : 2 つの最新メジャーバージョン
- Mozilla Firefox のバージョン : 最新バージョン



- (注) Safari を使用している場合は、Cisco Business ダッシュボードからの証明書が [Always Trust] に設定されていることを確認します。そうでないと、セキュア Web ソケットの使用に依存する特定の機能が失敗することが予想されます。これは、Safari Web ブラウザの制限です。

ネットワークで、Cisco Business ダッシュボードプローブ のすべてのインスタンスが Cisco Business ダッシュボード との TCP 接続を確立する必要があります。使用するポートおよびプロトコルの詳細については、『[Cisco Business ダッシュボード クイックスタートガイド](#)』の「よく寄せられる質問」を参照してください。

Cisco Business ダッシュボードプローブのシステム要件

Cisco Business ダッシュボードプローブ は仮想マシンイメージとして配布され、また、次のオペレーティングシステムで使用するインストーラとして配布されます。

- 64 ビット インテル アーキテクチャ プラットフォームで実行する Ubuntu Linux ディストリビューション
- Raspberry Pi で実行する Raspbian Linux ディストリビューション

Cisco Business ダッシュボードプローブは、高実績の Cisco Business 製品の組み込み機能としても使用できます。

Cisco Business ダッシュボードプローブを仮想マシンとして実行するには、お使いの環境が次の要件を満たしている必要があります。

- ハイパーバイザ：
 - Microsoft Hyper-V バージョン 10.0 以降
 - Oracle VirtualBox バージョン 6.1 以降
 - VMWare：以下のいずれか
 - ESXi バージョン 6.0 以降
 - Fusion バージョン 11.5 以降
 - Workstation バージョン 15.1 以降
- 仮想マシン リソースの要件は次のとおりです。
 - CPU：64 ビット インテル アーキテクチャ X 1
 - メモリ：512 MB
 - ディスク領域：5 GB

Ubuntu Linux オペレーティング システム下で Cisco Business ダッシュボードプローブ を実行するには、お使いの環境が次の要件を満たしている必要があります。

- Ubuntu 16.04 Xenial Xerus (Cisco Business Dashboard Probeバージョン2.2.xおよび2.3.x)
- Ubuntu 20.04 フォーカルフォサ (Cisco Business Dashboard プローブバージョン2.3.x以降)
- CPU : 64 ビット インテル アーキテクチャ X 1
- メモリ : 512 MB
- ディスク領域 : 5 GB

Raspberry Pi オペレーティング システムで Cisco Business ダッシュボードプローブ を実行するには、お使いの環境が次の要件を満たしている必要があります。

- ハードウェア : Raspberry Pi 3 モデル B/B+ または Raspberry Pi 4 モデル B
- ディスク領域 : 5 GB
- OS : Raspberry Pi OS (旧Raspbian) バスター

Cisco Business 製品で組み込みアプリケーションとして Cisco Business ダッシュボードプローブ を実行するには、Cisco Business ダッシュボードプローブ の機能をサポートしているファームウェアバージョンを実行するサポート対象の製品が必要です。ハードウェアとバージョンの要件の詳細については、「[Cisco Business ダッシュボード : デバイスサポートリスト](#)」を参照してください。また、プラットフォーム固有のその他の要件を決定するには、製品の管理ガイドも参照してください。

Cisco Business ダッシュボードプローブ は Web ユーザーインターフェイスを通じて管理されます。このインターフェイスを使用するには、以下のいずれかのブラウザが必要です。

- Apple Safari (MacOS のみ) : 2 つの最新メジャーバージョン
- Google Chrome : 最新バージョン
- Microsoft Edge : 2 つの最新メジャーバージョン
- Mozilla Firefox : 最新バージョン

Cisco Business ダッシュボードプローブ は、次の要件を満たしているネットワークデバイスを監視し、それらにアクセスします。

- Cisco Business ダッシュボードプローブ が実行している PC と同じサブネットに存在するか、または管理対象デバイスに直接接続され、TCP/IP を通じて到達できる必要があります。
- Cisco Business または Cisco Small Business 100 ~ 500 シリーズデバイスである必要があります。

シスコがサポートするデバイス

Cisco Business ダッシュボード は、Cisco Business および Cisco Small Business における 100 ~ 500 種類のシリーズ製品をサポートしています。サポートされるすべてのデバイスおよび機能

の詳細なリストについては、『[Cisco Business ダッシュボード：デバイスサポートリスト](#)』を参照してください。

ライセンス要件

Cisco Business ダッシュボードは、ライセンス対象アプリケーションです。管理対象の Cisco Business および Cisco Small Business 製品ごとにデバイスライセンスが必要です。詳細については、『[Cisco Business ダッシュボードデータシート](#)』を参照してください。

制限事項と制約事項

Cisco Business ダッシュボードの制限事項および制約事項については、次のセクションで説明されています。

- [一般的な制限事項](#)
- [システムバックアップと復元](#)

一般的な制限事項

- Cisco Business ダッシュボードの Web インターフェイスは、アプリケーションの起動後、動作可能になるまで数分かかります。
- ネットワークのサイズによっては、プローブがすべてのデバイスを検出してネットワークトポロジを計算するのに数分かかる場合があります。
- 単一の仮想マシンまたは Raspberry Pi プローブインスタンスで、最大 50 のネットワークデバイスを管理できます。Cisco Business ネットワークデバイスで動作中の組み込みプローブでサポートされるデバイスの最大数を確認するには、該当する製品のマニュアルを参照してください。
- 単一のダッシュボードインスタンスで最大 2500 のデバイスを管理できます。
- SNMPv3 認証キーおよびプライバシーキーは、8 文字以上の長さにする必要があります。
- Safari を使用する場合は、Cisco Business ダッシュボードプローブによって提示される証明書が [Always Trust] に設定されていることを確認してください。

システムバックアップと復元

- システムのバックアップまたは復元を実行すると、Cisco Business ダッシュボードでは今後の設定アクションを実行できなくなります。
- システムのバックアップまたは復元を開始する前に、[Administration] > [Users] > [User Settings] で、アイドルタイムアウト値を 30 分以上に設定する必要があります（デフォルトは 60 分）。

不具合

次の表は、Cisco Business ダッシュボード バージョン 2.3.0 で未解決の不具合のリストです。

表 2: 未解決の不具合

問題 ID 番号	見出し
CSCvc02341	ローミングデバイスがトポロジ上の複数の AP に接続する。 回避策 現時点では回避策はありません。
CSCvc04204	マスターの電源をオフにした後、スイッチスタックのクレデンシャルテーブルで重複エントリが取得される。 回避策 スタックが安定したら、プローブを再起動します。
CSCvf49309	FindIT で、[Network Plug and Play] - [Unclaimed Devices] ページにデバイス IP ではなく外部 WAN IP が表示される。 回避策 なし
CSCvf49332	トポロジページのディスプレイに 300 を超えるホストが表示されると、FindIT の応答が遅くなる。 回避策 ホストが多数ある場合は表示しないようにします。
CSCvq25771	システムが VirtualBox 上のホストから時刻を同期しない。 回避策 コマンド「 <code>sudo apt-get install -y virtualbox-guest-utils</code> 」を使用して、VirtualBox Guest Addition を仮想マシンにインストールし、仮想マシンを再起動します。 (注) 仮想マシンに VirtualBox Guest Addition が存在すると、timesyncd の実行が妨げられ、NTP が動作しなくなります。
CSCvq25807	マスターがオフラインから復旧した後、スタックスイッチユニットの設定が失われる。 回避策 現在の設定を手動で読み取って受け入れるか、日次スケジュールジョブを待ちます。

問題 ID 番号	見出し
CSCVq25817	LAG ポートに実際の VLAN 設定情報が表示されない。 回避策 デバイス管理 GUI で LAG の VLAN 設定を確認します。
CSCvu45355	Tesla プローブによる SMB WAP デバイスのオンラインアップグレードが失敗する。 回避策 ネットワーク プラグアンドプレイを使用するか、管理 GUI から手動で WAP をアップグレードします。
CSCvv18280	CBW の「同一の SSID 名」のケースが CBD でサポートされない。 回避策 CBW アクセスポイントの SSID 名を変更して一意になるようにします。

次の表は、バージョン 2.3.0 で解決済みの不具合のリストです。

表 3: 解決済みの不具合

問題 ID 番号	見出し
CSCvx75659	VM の展開後にプローブ GUI をオープンできない。
CSCvx57109	CBD が同じプローブからの 2 回目の接続を拒否する。
CSCvy45722	起動後、プローブが継続的にクラッシュする場合がある。
CSCvy31811	Ubuntu Linux で CBD ベアメタルのインストールが失敗する。

サポートの利用方法

最新のサポート情報については、次の URL を参照してください。

表 4: サポートの利用方法

サポート	
Cisco Business ダッシュボードサポートフォーラム	http://www.cisco.com/go/cbd-support
Cisco Business の電話によるサポート	http://www.cisco.com/go/cbphone
製品に関する資料	
Cisco Business ダッシュボードサポートおよびマニュアルリソース	https://cisco.com/go/cbd-docs

サポート	
Cisco Business	
Cisco Business のホームページ	http://www.cisco.com/go/ciscobusiness
Cisco Business サポートコミュニティ	http://www.cisco.com/go/cbcommunity

